

編集後記

こども学科は、その開設の初年度から研究紀要『こども学研究』を創刊することとした。年度途中より編集委員会を組織し学科の枠を超えて投稿を募った結果、創刊号には、《原著論文》8篇と《研究ノート》1篇の合計9篇の投稿があった。各篇に対する査読は、『こども学研究投稿規約』に則り、編集委員会が委嘱した各2名の査読者によって行われたが、その結果、9篇すべてを掲載することとした。

この創刊号を皮切りに、『こども学研究』誌上では、子どもとは何か、子どもを理解するとはどういうことか、子どもに何をどのように伝えるか、あるいは子どもを育てる専門職にはどのような知識や技能が求められるか等々、旺盛な議論が展開されることだろう。そしてそれらの議論が、個々の研究経過及び成果を披露することにとどまらず、豊かな誌上討論や研究交流へと発展していくことになれば、本誌刊行の主要な目的の一つを達成することになる。

(木山 徹哉)